

令和4年11月1日

保護者様

松戸市立牧野原中学校
校長 鈴木 俊世

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、このたび、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果及び本校生徒の分析結果が出ましたので、お知らせします。

1. 全国学力・学習状況調査概要

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善をねらいとし、国語と数学で全国の中学校3年生を対象として、本年度4月19日（火）に実施されました。

調査の内容は、「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境等に関する調査」の二つに分けられます。「教科に関する調査」は、以下のように実施されました。

- ・国語、数学、理科の3教科について調査を実施。出題範囲は、中学校2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下の通りとなっている
- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

2. 今回の調査から（概要）

- [国語] ・「書くこと、読むこと」の領域において県平均、全国平均を大幅に上回っています。
- ・「話すこと・聞くこと、我が国の言語文化に関する事項」の領域において全国平均よりやや下回っていますが、ほぼ同等に近いです。
 - ・「情報の扱い方に関する事項」の問題では、全国平均よりも大幅に上回っているの で、グラフの読み取り引用の仕方についての学習を行っている影響だと考えられます。
- [数学] ・「数と式」の領域において県平均よりも上回っており、全国平均とほぼ同等です。
- ・「図形・関数・データの活用」の領域において全国平均をやや下回っています。
- 計算問題（連立方程式）の項目においては、県平均、全国平均を大きく上回っています。毎日の家庭学習の積み重ねが結果となって現れていると考えられます。
- [理科] ・「地球」の領域において県平均、全国平均よりも上回っています。
- ・「エネルギー、粒子、生命」の領域において全国平均をやや下回っています。
- 単元ごとによって知識の差があり、理解度や意欲も異なります。知識を使うことができるので、それらを活用できる学習を取り組んでいきます。
- [生活面] ・学校に行くのは楽しいと回答している生徒が全国平均を上回っています。
- ・友達と協力するのは楽しいと回答している生徒が全国平均を上回っています。

3. 今後の学校での指導に生かしたいこと

今回の調査分析で把握した課題の解決や更なる学力の向上に向けた授業改善・指導方法の工夫について、学校全体で取り組んでまいります。また、学習の習慣と併せて、基本的な生活習慣を重視していくことで気力・体力の充実に努め、様々な事に挑戦する基盤をつくりたいと思います。

4. その他

- (1) 良い生活習慣が学習の土台になります。早寝・早起き・朝ご飯の習慣を大切にしようご協力お願いします。
- (2) 学習や生活習慣等について気になることがありましたら、遠慮なく担任へご相談ください。
- (3) 本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、本校の教育活動の一側面であることをご理解くださるようお願い申し上げます。